

今そこに生息するいきものを“まもる” いきものインフォ

いきものインフォとは？

安藤ハザマがこれまでに携わった
生物多様性保全に関する土木・
建築工事の事例をデータベース化
した社内プラットフォームです。



いきものインフォの特徴

工事に関連する 工種ごと・生物種ごとの保全計画の立案が可能

これまでに取り組んだ保全活動の事例（生物多様性着目現場）や、対象生物に関する基礎情報（生態、生息環境など）をもとに、周辺地域の生態系に配慮した施工計画を立案することができます。

対象となる工種を検索

例：ダム現場で保全が進められる希少生物種について事前に把握したい。

「工事別」を選択

「ダム」を選択

「事例」を参照

2018年 NO.2 ●●ダム工事 [公開資料]

2014年 NO.4 ▲▲ダム工事 [公開資料] [非公開資料]

「公害対策型投光器の活用
夜行性動物や昆虫などの生息環境への影響を軽減します」

出典：土木施工vol.52 No.4

保全が必要な生物名を検索

例：工事中、「エゾサンショウウオ」の生息環境に配慮した取組みを実施したい。

「生物種別」を選択

「ア行」を選択

「事例」を参照

2014年 NO.4 ●●トンネル工事 [公開資料] [非公開資料]

現場内におけるピオトープ整備
生物をピオトープで保全する際の計画立案を支援します

卵 幼生 幼体

いきものの情報を“活かす” 環境情報GIS

環境情報GISとは？

事業エリア周辺の生態系に関する環境データを電子地図上に記録できる環境情報管理システムです。



環境情報GISの特徴

情報は記録するだけでなく、環境教育等にも活用可能

GISのマップ上に、現場で発見した動植物の写真および情報（動植物名、位置情報、日付など）を記録します。日付を遡って記録を見返せるため、施工後の事後調査に活用することが可能なほか、環境教育にも有効です。

例

工事中、現場職員が収集した希少種「キンラン」の情報をを用いて、現場内で環境保全教育を実施したい。



環境保全教育

例

施工後の事後調査のため、工事に移植した希少種「キンラン」の移植時期・移植場所を知りたい。



キンラン

□ 観察年月日 2022/01/19 ~ 2022/12/19

動植物区分 植物 動植物名 キンラン

検索画面に情報を入力し 🔍 をクリック

No	18-0
動植物区分	植物
動植物名(和名)	キンラン
レッドデータブックランク	絶滅危惧II類 (VU)
観察位置 (X座標)	140.0840479
観察位置 (Y座標)	36.0764595
観察年月日	2022年05月14日
観察時刻	09時10分
写真	
観察位置 (名称)	シラカシの下
観察位置の方角 (8方位)	南
確認した個体数	1株
観察状態	開花した状態
調査員氏名	安藤太郎
履歴	1/1

Leaflet | Map data (C) 地理院タイル ©

※イメージ

いきものからエネルギーを“つくる” 植物・微生物発電

植物・微生物発電とは？

植物の光合成と微生物の代謝により光エネルギーを電力に変換します。植物が育つ土壌や水辺に電極を挿しておくだけで電源がなくても、植物が元気に育つ環境があれば電力を得ることができる未来のシステムです。



安藤ハザマ技術研究所 (実証実験)

植物・微生物発電の特徴

point

マグネシウムの劣化を抑える工夫により継続的な発電が可能

3

発生した電子が一極のマグネシウムから+極の備長炭に流れる際に電気が発生する。

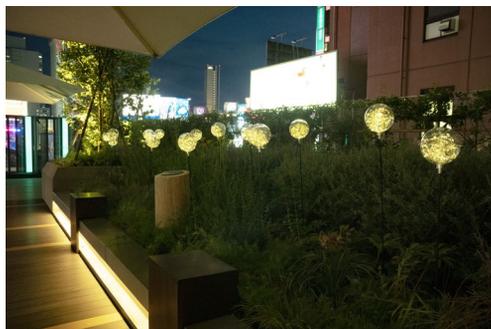


1

植物が光合成で糖(デンプン)をつくり、根から土中に分泌する。

2

土中の根の周りには微生物が糖を食べて分解し電子が発生する。電極が土中の水分や肥料に反応することで電子は発生する。



渋谷ヒカリエ



BONUS TRACK (下北沢)